

講義名	社会保障論			
担当教員	中島 孝子			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

**主題と概要**  
 社会保障制度の中で、医療保障、民間保険、社会福祉、および社会手当制度に焦点をあて、これらの項目に関する日本の制度の基本的事項を確認し、それらの問題点を学習することを目的とします。社会保障論Ⅰ(上瀬眞生先生担当)とあわせて受講することによって、社会保障論の基本的事項を身につけることを目指します。

**到達目標**  
 以下のトピックについて、現実に採用されている制度について理解できるようになる。  
 保険の仕組みおよび民間保険の概要、課題について理解できる。  
 医療保障制度の考え方や概要、課題について理解できる。  
 介護保障制度の考え方や概要、課題について理解できる。  
 社会福祉制度と社会手当制度の考え方や概要、課題について理解できる。

**提出課題**  
 提出課題として、小テストや宿題などを課します。詳細は授業中に指示します。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック**  
 課題提出後、解説や講評を行います。

**評価の基準**  
 成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。  
 配分は定期試験(または課題)70%、平常点30%です。  
 昨年度は履修登録者の85%が最終の課題を提出し、その94%が合格しました。  
 定期試験にかえて課題を課すことがあります。  
 詳細は授業時に指示または講義連絡等で通知します。

**履修にあたっての注意・助言他**  
 社会保障論Ⅰを履修していることが望まれます。

教科書	「社会福祉学習双書2021 6 社会保障論」	「社会福祉学習双書」編集委員会/編	全国社会福祉協議会	¥2700	

**プリント資料及び参考文献**  
 授業ではプリント資料を配布します。以下は、教科書の他に、本科目における学習や理解において有用な文献です。  
 榎野美智子・田中研太郎「はじめての社会保障(第17版)」有斐閣 2020年

- 授業計画**
- 1 公的保険と民間保険(第5章) (1)現代社会と保険制度
  - 2 公的保険と民間保険(第5章) (2)新制度と企業年金・個人年金
  - 3 公的保険と民間保険(第5章) (3)生活リスクと民間保険の役割
  - 4 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (1)医療保障制度の沿革と近年の改革
  - 5 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (2)医療保障制度の種類
  - 6 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (3)医療保障制度の給付
  - 7 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (4)保険医療制度
  - 8 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (5)医療提供体制と国民医療費
  - 9 介護保障制度の概要(第8章) (1)介護保障制度の創設と意義
  - 10 介護保障制度の概要(第8章) (2)介護保障制度の内容
  - 11 介護保障制度の概要(第8章) (3)介護保障制度の課題
  - 12 社会福祉制度の概要(第10章) (1)社会福祉制度の概要
  - 13 社会福祉制度の概要(第10章) (2)生活保護制度の概要
  - 14 社会手当制度の概要(第11章) (1)社会手当の意義
  - 15 社会手当制度の概要(第11章) (2)児童扶養手当

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**  
 毎回の授業後、次回までに復習をしてください。  
 テキストを使って事前に予習することを推奨します。  
 予習と復習を合わせ、1回あたり4時間が目安です。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**  
 本科目の学びを通じ、獲得する社会保障に関する知識は、知識を知恵に転換し、論理的思考力を持つ人材や創造力を持つ人材の育成の基礎となる。また、市場経済におけるセーフティネットである社会保障に関する知識は、自主独立の精神を支える。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**  
 授業中のアンケートや小テストの提出などにレスポンスを使用します。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**  
 新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正がある。  
 Ryuka Portal 等における連絡事項に注意すること。